ぬまづ

市議会だより

平成29年12月1日
第216号

泊まれる公園「ＩＮＮ ＴＨＥ ＰＡＲＫ」球体テント　（旧少年自然の家）

平成28年度の決算を審査

●一般会計・特別会計・企業会計の決算を認定しました …… P.2～3

ピックアップ議会

●沼津市医師就業支度金貸与条例の制定
市立病院の医師を確保し、健全な病院経営を図ります…… P.4

市政について問う！

●19人の議員が一般質問を行いました …… P.6～11

Proud NUMAZU

決算を認定!

定例会の主な内容

第 10 回（９月）定例会は、９月 13 日に開会し、10 月 16 日までの 34 日間にわたり開催しました。この議会では、平成 28 年度沼津市一般会計歳入歳出決算の認定等 29 件、議員提出議案１件及び請願１件を審議しました。

ここでは、平成 28 年度の一般会計、特別会計及び企業会計の審査、歳入・歳出決算額等の主な内容をお知らせします。

特別会計決算

会　計	歳　入	歳　出	差引額
国民健康保険事業	268 億 4,034 万円	258 億 7,166 万円	9 億 6,868 万円
土地取得事業	5 億 1,590 万円	5 億 1,590 万円	0 円
介護保険事業	151 億 9,760 万円	148 億 6,409 万円	3 億 3,351 万円
簡易水道事業	376 万円	271 万円	106 万円
後期高齢者医療事業	21 億 8,530 万円	21 億 7,961 万円	569 万円

企業会計決算

会　計		収　入	支　出	差引額
病院事業	収益的収支	110 億 7,559 万円	112 億 5,644 万円	△１億 8,085 万円
	資本的収支	10 億 1,600 万円	15 億　687 万円	△４億 9,087 万円
水道事業	収益的収支	31 億 6,971 万円	25 億　413 万円	6 億 6,558 万円
	資本的収支	8 億 7,418 万円	20 億 5,381 万円	△ 11 億 7,963 万円
下水道事業	収益的収支	50 億 3,339 万円	48 億 3,355 万円	1 億 9,983 万円
	資本的収支	20 億 1,294 万円	36 億 9,423 万円	△ 16 億 8,130 万円

◆収益的収支：事業活動に伴って生じる収入と支出　◆資本的収支：建物や機器などの資産の購入・売却による収入と支出
◆一般会計から病院事業会計へ 20 億 5,000 万円、水道事業会計へ 2,277 万 8,000 円、下水道事業会計へ 24 億 5,000 万円繰り入れています。なお、企業会計決算額は、消費税及び地方消費税を含みます。

特別会計企業会計予算決算委員会での主な質疑

問　特定健康診査受診率向上のための取り組みは。

答　特定健康診査をがん検診と同時に実施したことや、平日だけでなく、土曜日、日曜日にも集団健診を実施したほか、各地区を回る巡回健診を行った。また、若い世代の受診率向上のため、40 歳になる人を対象に、期日を指定し、特定健診と同時に運動体験や食生活のアドバイスを行う「はじめて健診」を引き続き実施した。さらに、新たな取り組みとして、特定健診を受診した人の継続受診を促すため、41 歳の人を対象に「はじめて健診」同様の内容の総合健診を実施した。

問　土地取得事業における土地売払収入の内容は。

答　沼津駅周辺総合整備事業促進用地２カ所、合計 1,136 平方メートルを、５億 898 万 4,000 円で一般会計に売却したものである。

問　要介護等認定者をふやさないための新たな取り組みは。

答　平成 28 年度、新たに高齢者の積極的な社会参加を通じた介護予防を推進するため、体操や運動を普及する人材を養成する、健康体操サポーター養成講座及び市内の介護保険施設等でサポート活動を行う人材を育成する、介護予防サポーター養成講座を計８回実施し、延べ 215 人の参加があった。

問　病院事業における平成 28 年度に実施した経営改善に対する取り組みは。

答　沼津市立病院あり方検討委員会から出た意見をもとに、患者数の増を目的として、病院長による開業医の訪問を行ったほか、新たに、広報誌「ぬまピタル」の発行や健康まつりを開催するなど、情報発信の強化に取り組んだ。また、診療報酬のマイナス改定に対する影響の緩和や看護師不足に対応するための病床数の削減を行った。さらに、患者満足度の向上を目的として、患者や付き添い者の食事スペースを確保するため、院内のレストランや売店を見直し、院内にコンビニエンスストアを導入するなど、できるところから着手した。

問　下水道事業において未処理欠損金が依然として生じていることに対する認識は。

答　平成28年度は、純利益1億6,729万3,999円により、未処理欠損金を削減できたが、人口減少や節水機器の普及などにより、下水道使用料の大幅な増収が見込めない中、下水道維持管理費の増加等により、今後さらに厳しい経営状況になると考えている。そのため、経費節減はもとより、下水道の普及率及び水洗化率を向上させ、自主財源確保による純利益の計上を図り、未処理欠損金の早期解消に努めていかなければならないと認識している。

平成 28 年度の決算を審査

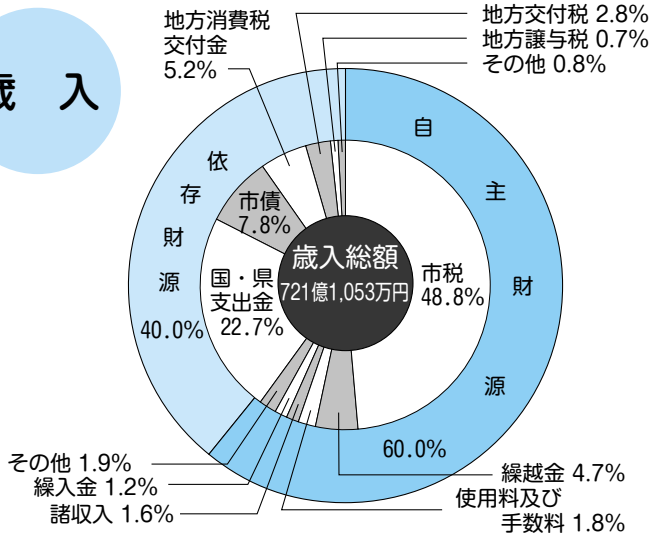
一般会計・特別会計・企業会計の

◆2～3ページの表は、1万円未満を四捨五入してあるため、差引額及び比較増減額が一致しない場合があります。

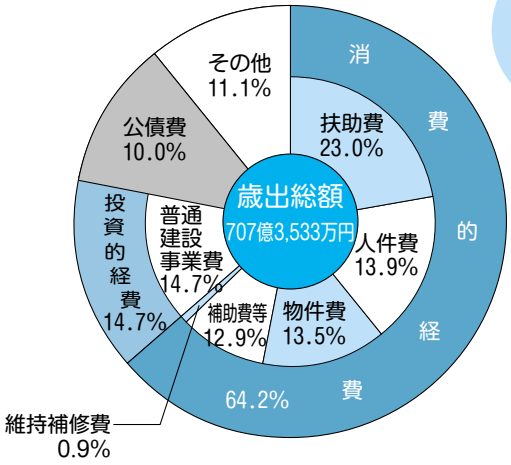
一般会計決算

	歳　入	歳　出	差　引　額
平成 28 年度決算額	721 億 1,053 万円	707 億 3,533 万円	13 億 7,520 万円
平成 27 年度決算額	742 億 2,537 万円	708 億 6,116 万円	33 億 6,421 万円
比 較 増 減 額	△21 億 1,484 万円	△ 1 億 2,583 万円	
増　減　率	△ 2.8%	△ 0.2%	

歳　入



歳　出



一般会計予算決算委員会での主な質疑

問 前市長編成の予算のもと、市長はどのような市政運営を行ったか。

答 継続的な市政運営という責務を果たすために、粛々と予算執行した結果、平成 28 年度決算においては、前市長との政治姿勢の差が数字として顕著にあらわれるまでには至らなかったが、市政情報の見える化や、市民への情報発信を推進するため、第 2 次沼津市都市計画マスタープランの説明会や、市長と語る会「元気な沼津！まちづくりトーク」を開催するなど、前市長とは異なる姿勢で、市民と行政の距離を縮めて市民の行政への参画意識を向上させる取り組みを行ってきた。

問 自主財源確保の状況は。

答 自主財源の根幹である市税の増収に向けて取り組んだ結果、平成 28 年度の収納率は平成 27 年度に比べ 0.4 ポイント増加し 95.7%となった。また、ふるさと納税を積極的に推進した結果、寄附額は平成 27 年度に比べ約 7,300 万円の増加となり、1 億 8,382 万 7,384 円であった。

問 こども医療費等助成の実績と、前年度比の状況は。

答 平成 28 年度は、32 万 2,510 件、5 億 1,884 万 3,544 円を支給し、平成 27 年度に比べ、7,274 件、1,686 万 8,153 円の増加となった。これは、インフルエンザの流行などのほか、制度拡充により平成 28 年 10 月から第 3 子以降の通院・入院にかかる費用を無料としたことが支給額の増加につながったものと考えている。

問 学校規模・学校配置適正化推進事業の取り組みは。

答 児童生徒数の減少傾向が著しい戸田地区、長井崎中学校区、第二地区においては単学級化が進行しており、近い将来、複式学級が生じる見込みがあることから、戸田地区については、小中一貫校推進委員会を設置し、2 回の会合を開催する中で、既存の校舎を活用した小中一貫校化を図ることについて合意を得た。また、長井崎中学校区と第二地区においては、自治会及び学校関係者に対し、適正化の内容を説明する中で、本市の方針に一定の理解を得たところである。

問 勤労者支援利子補給事業の実績は。また、県内他市との比較に対する認識は。

答 教育資金利子補給は、428 件、274 万 9,854 円、住宅建設資金利子補給は、1,477 件、1,763 万 7,341 円、育児支援資金利子補給は、50 件、35 万 2,435 円であり、総額 2,073 万 9,630 円であった。本市の教育資金利子補給制度及び住宅建設資金利子補給制度の利子補給額は、県東部で最高額、県内でも 2 番目に高い金額であり、さらに、育児支援資金利子補給制度は、本市と富士市だけが実施するなど、県内他市と比較しても、遜色のない内容であると認識している。

ピックアップ議会

市立病院の医師を確保し、健全な病院経営を図ります

―沼津市医師就業支度金貸与条例の制定―

沼津市立病院において安定的な医療サービスの提供と健全な経営を図るためには、各診療科の中核となる医師を確保していくことが重要です。

沼津市立病院へ円滑に医師を招へいするための制度として、９月定例会において「沼津市医師就業支度金貸与条例」が上程され、全会一致で可決しました。

ここでは、その内容についてお知らせします。

沼津市医師就業支度金貸与条例の内容は？

Q どのような条例ですか？

A 新たに正規職員として沼津市立病院に勤務する医師に対し、就業にかかる支度金を貸与することで、円滑な医師確保を行うものです。なお、貸与された支度金は、沼津市立病院に５年間勤務した場合は返還を免除します。

Q なぜ条例をつくったのですか？

A 常勤医師が在籍していないことにより患者さんの診療を制限している診療科を再開するためには、医師の確保が不可欠であることから、この条例をつくりました。

Q 対象となる医師は？

A 沼津市立病院に正規職員として勤務し、かつ、診療科の開設又はその維持に特に貢献できると市長が認めた医師を対象とします。

Q 支度金の貸与額はいくらですか？

A 沼津市内に住所を有する者は 700 万円、それ以外の者は 300 万円をそれぞれ限度として無利子で貸与します。

※９月定例会において、平成 29 年度沼津市病院事業会計補正予算（第１回）を可決し、この支度金（700 万円× 2 人分）を追加しました。

Q 他の市町も同じような条例がありますか？

A 滋賀県高島市、和歌山県橋本市、兵庫県豊岡市、兵庫県養父市などで同様の制度があります。

民生病院委員会での主な質疑

問 本条例を年度の途中において制定する理由は。

答 本年４月の新病院長就任後、喫緊の課題である医師不足を解消するため、支度金を貸与することで、他の病院に比べ、医師確保の優位性を保つための制度を構築したものである。

問 首都圏の大学の医師を招へいする際の現状は。

答 沼津を知らない、他の市立病院との差がわからないとの反応や、家族の理解や子供の教育に伴う生活圏の問題がある。

問 本条例制定において、想定している対象者は。

答 医師確保の取り組みの一つとして、医師免許取得後、２年以下の初期研修医や３年から５年の専攻医を積極的に受け入れ、市立病院に就職してもらえるような環境をつくるためには、豊富な経験をもった指導医が必要であることから、診療科の長となることができる医師を対象と考えており、具体的には、現在、常勤医師が不在となっている、泌尿器科、腎臓内科、救急科、麻酔科の医師を想定している。

問 本条例と沼津市立病院新改革プランとの関係は。

答 平成 29 年３月に策定した改革プランにおいても医師確保の取り組みを掲げており、それらを継続するとともに、医師確保のための一つの新たなツールを設けたものである。

9月定例会の主な議案一覧

	議案名	内容	議決結果
条例	議第45号 沼津市医師就業支度金貸与条例の制定	**■各診療科の中核となりうる医師を招へいするため、医師就業支度金を貸与します** 沼津市立病院における医師招へいを円滑にし、もって安定的な医療提供及び健全な経営を図ることを目的に、現に医師免許を有し、市立病院に勤務する予定である者で、かつ診療科の開設またはその維持に特に貢献できる医師に対して、医師就業支度金の貸与を行うものです。	可決
予算	議第46号 平成29年度沼津市一般会計補正予算（第3回）	**■当初予算に2億9,697万5,000円を追加し、予算総額は716億5,390万円となります** 追加したものは、道路新設改良事業費1億3,013万1,000円、一般河川整備事業費7,731万6,000円が主なもので、財源としては、それぞれの特定財源のほか、一般財源として繰越金などをもって充てるものです。このほか、臨時財政対策債などの起債限度額を変更するほか、繰越明許費として第二地区センター建設事業2億7,193万6,000円を追加するものです。	可決
契約	議第49号 工事請負契約の締結（沼津市立金岡中学校屋内運動場建築主体工事）	**■金岡中学校屋内運動場の建築工事を行います** 制限付き一般競争入札により4億4,604万円で沼津市大岡1705番地の4、大藤建設株式会社 代表取締役 町田直繁と工事請負契約を締結するものです。工事の内容としては、神田町地内において、鉄骨造2階建、建築面積1,567.56平方メートル、延床面積1,767.55平方メートルの屋内運動場を建築するもので、完成期限は平成30年10月11日です。	可決
	議第50号 工事請負契約の締結（市道0107号線永代橋耐震補強工事）	**■新たな耐震基準により、永代橋の耐震補強工事を行います** 制限付き一般競争入札により2億5,380万円で沼津市中瀬町5番6号、株式会社植松土木 代表取締役 植松寧と工事請負契約を締結するものです。工事の内容としては、吉田町地内他において、永代橋のP1橋脚の耐震性を高める補強工事を行うもので、完成期限は平成30年6月28日です。	可決
	議第51号 工事請負契約の締結（小河原川雨水貯留池築造工事）	**■青野地区を中心とする浸水被害軽減のため、雨水貯留池を築造します** 制限付き一般競争入札により3億341万5,200円で静岡市駿河区八幡二丁目2番12号、株式会社熊谷組静岡営業所 所長 巻木茂と工事請負契約を締結するものです。工事の内容としては、柳沢地内において、重力式コンクリートダム型式、堤体高12.4m、堤体幅93.0mの雨水貯留池1カ所を築造するもので、完成期限は平成30年7月13日です。	可決
人事	認第25号 教育委員会委員任命の同意	平成29年10月25日をもって任期満了となる三芳町在住の**三好勝晴**（みよしかつはる）氏を再任することについて同意するものです。	同意
	認第26号 公平委員会委員選任の同意	平成29年10月25日をもって任期満了となる**瀬野真志**（せのまさし）氏の後任として、三島市文教町在住の**土屋賢太郎**（つちやけんたろう）氏を選任することについて同意するものです。	同意
	認第27号、認第28号 固定資産評価審査委員会委員選任の同意	平成29年10月25日をもって任期満了となる高尾台在住の**望月繁和**（もちづきしげかず）氏を再任すること、また、平成29年10月25日をもって任期満了となる**土屋達郎**（つちやたつお）氏の後任として、大岡在住の**松井泰樹**（まついやすき）氏を選任することについて同意するものです。	同意

☆このほかの議案については、沼津市議会のホームページをご覧ください。 沼津市議会 検索

会派別　賛否が分かれた議案一覧

○＝**賛成**　×＝**反対**　※（　）内は所属議員数

	議案名		議決結果	志政会(8)	市民クラブ(5)	公明党(3)	自民沼津(3)	未来の風(3)	改革ぬまづ(2)	日本共産党沼津市議団(2)	無所属(2)
決算	認第29号	平成28年度沼津市一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	×	○ ×	×	○
	認第31号	平成28年度沼津市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	×	○ ×	×	○
	認第34号	平成28年度沼津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	×	○

市政について問う！

一般質問

第十回（九月）定例会では、十九人の議員が市政について質問しました。

議員名	主な質問項目	掲載頁
城内　務	長期財政試算、立地適正化計画、空き家対策、所有者不明化対策	6
片岡　章一	地区コミュニティー、待機児童対策、成年後見制度利用促進	6
江本　浩二	沼津市長期財政の試算	7
殿岡　修	鉄道高架中止による過大損失表現、民間投資は夢	7
山下富美子	長期財政の試算と地方交付税の見込み、鉄道高架の費用便益	7
久保田吉光	道の駅、学校給食と地産地消、AOI－PARC、沼津茶促進	7
霞　惠介	IOT（モノのインターネット）活用の通信基盤	8
梶　泰久	防災、減災、総合防災訓練、消防団、洪水、公共施設	8
渡部一二実	自主防災組織対策、空き家条例対策、生活困窮者対策	8
真野　彰一	新中間処理施設整備、下水道整備	8
髙橋　達也	海岸清掃機材導入、土曜科学教育実施	9
加藤　明子	駅北周辺放置自転車対策、24時間使えるAEDの環境整備	9
小澤　隆	情報政策、朝鮮半島有事への対応	9
加藤　元章	財政見通し、鉄道高架、新体育館駐車場、オリンピック合宿誘致	9
中田　孝幸	浜岡原発の放射線被害、放射線の教育と周知、新エネルギー推奨	10
川口　三男	長期財政の試算は、財政指標の必須要素の欠落、暮らしの補償	10
岩崎　英亮	新地方公会計制度、ふるさと納税通知、市長と語る会	10
梅沢　弘	長期財政試算、財政規律、利払い費合計、市民への説明責任	10
水口　淳	戸田からの高校通学補助、くるら戸田指定管理者	11

大型事業推進に対する市長の政治姿勢は

城内　務

問 今後の人口減少やその中での少子高齢化という状況がある中で、教育や福祉を初めとした市民サービスの確保を前提に厳しい財政運営が続くものと認識しており、「沼津市長期財政に関する試算」があくまでも個々の施策を判断するものではなく、一定の条件下での試算であることは理解するが、試算を踏まえた上で、本市の重要課題である沼津駅周辺総合整備事業を初め、香陵公園周辺整備事業、中間処理施設整備事業などの重要事業への取り組みに対する市長の認識及び決意は。

答 市長／全国的な課題である人口減少や公共施設の老朽化対策などに真摯に向き合っていくことは、平たんな道のりではないと思うが、試算の結果を見ると、決して乗り越えられないものではないと認識している。この試算によって、もちろん個別の施策を判断するものではないが、私が目指す世界一元気な沼津の実現のためには、明るい未来への投資が極めて重要だと考えており、そのために、沼津駅周辺総合整備事業や香陵公園周辺整備事業、中間処理施設整備事業などの推進を市民の理解を得ながら、着実に前へ進めていきたいと考えている。

地区センターの活用は

片岡　章一

問 地区コミュニティーを推進するに当たり、核となる地区センターの活用について、現在の状況及び課題に対する認識は。

答 企画部長／地区センターは、コミュニティー活動、福祉、防災などの拠点として幅広く活用されており、市民自治のまちづくりを推進するための核となる施設として使われていると認識している。また、市と協働でまちづくりを進めていただいていることから、地区センターに期待する部分が市や地域から多く寄せられており、職員の確保や地域の人材育成が課題であると認識している。

問 地区センター図書室の現状と具体的な充実策は。

答 教育次長／十五カ所の地区センターに分館的機能の図書室を設置しており、平成二十九年三月末で、一般書、児童書など合計六万六千冊余りの図書を備えるとともに、年間約三万九千冊の貸し出しがあるなど、多くの地域住民が利用している。また、将来においても、市民の生涯学習活動に役立てるとともに、地域に密着した図書館活動を図るため、地域のニーズに合った蔵書構成の見直しを行うなど、より一層の地区センター図書室機能の充実に努めていく。

「沼津市長期財政に関する試算」の基礎データに活用した数値の妥当性は

江本　浩二

問 「沼津市長期財政に関する試算」の基礎データに用いられている将来人口の予測値は、試算結果に大きな影響を及ぼす重要なデータであると考える。この基礎データには、国立社会保障・人口問題研究所が発表している人口推計ではなく、沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの人口推計が用いられており、目標値であるこの数値を試算の算定に活用することは妥当性を欠くものと考えるが、その認識は。

答 **財務部長**／国立社会保障・人口問題研究所の人口推計は、統計指標に基づき、機械的に試算したものであるのに対し、沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの人口推計は、人口減少に歯どめをかけるための施策の効果を勘案した上での推計としている。これら施策の経費を本試算でも見込んでいることから、人口ビジョンの人口推計を活用して試算を行ったものである。また、人口ビジョンは、外部有識者による審議を重ねるとともに、パブリックコメント等により寄せられた市民の意見を参考にしながら作成した計画であることから、本試算の算定に人口ビジョンの人口推計を用いることは当然であると認識している。

鉄道高架事業を中止した場合の取得済み用地の利活用に対する認識は

殿岡　修

問 取得済みの鉄道施設移転用地は、鉄道高架事業を中止したとしても、他の目的で有効活用することができると考えるが、その認識は。

答 **沼津駅周辺整備部長**／取得済みの鉄道施設移転用地は広大で、細長い形状であることから本事業以外への利活用はしにくいものと考える。その中でも新貨物ターミナル用地は、取得済み用地と未取得用地が混在しているため一体的な利用ができないことから、土地の有効活用を図ることは困難だと認識している。

問 Ｂ－Ｖ－沼津やイーラｄｅ、プラサヴェルデ完成後においても、橋上駅化ではなく、さらに莫大な費用をかけて高架化する理由は。

答 **沼津駅周辺整備部長**／橋上駅化では、駅直近の歩行者の利便性は向上するものの、市街地は一体化せず、駅周辺の回遊性が向上しないことや交通環境も改善されず事業の波及効果が限定的になることから、鉄道高架事業を推進するものである。なお、鉄道高架事業の施工期間中においても、南北の歩行者の行き来を便利にするために、現在、県から鉄道事業者に工事期間中の仮設の南北自由通路の設置について検討をお願いしている状況である。

「沼津市長期財政に関する試算」において見込む財源の妥当性は

山下　富美子

問 今後、財政的に影響を与える沼津駅周辺総合整備事業、香陵公園周辺整備事業、中間処理施設整備事業の進行を踏まえ算出した「沼津市長期財政に関する試算」において、前提として見込む地方交付税の増額などの条件が成り立たなければ三事業の遂行は不可能と考えるが、その認識は。

答 **財務部長**／本試算は、沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンや、沼津駅周辺総合整備事業などによる財政への影響が相当長期にわたることを踏まえて、現在及び将来の財政状況を明らかにするために作成したものである。本試算における地方交付税は、現制度における国と地方の役割分担を踏まえて見込んだものであるため、本条件は、客観的かつ妥当性があるものと認識している。

問 鉄道高架事業の事業効果の一指標である費用便益分析（Ｂ／Ｃ）の値が上がる状況はどのような場合か。

答 **沼津駅周辺整備部長**／費用便益分析は、算出年度を基準とし、将来の便益を現在の価値として算出するもので、供用開始が延びるほど数値は低下し、現基準では上がることは難しいと考える。数値が上がる場合は算定基準が変わる場合だと考える。

本市西部地区への道の駅設置に向けた候補地決定と具体的スケジュールは

久保田　吉光

問 現在、道の駅あり方検討委員会において検討が進められている本市西部地区への道の駅設置について、建設候補地の決定と実現に向けた具体的スケジュールは。

答 **企画部長**／建設候補地については、道の駅あり方検討委員会において面積、土地の利用状況、法規制等の諸条件を整理した上で候補地案を二案提示した。今後は、施設へのアクセス性や周辺環境との調和など立地特性を整理し、関係機関と協議しながら候補地を検討していきたいと考えている。また、開駅に向けては、関係機関で構成する協議会を設置し、地元等と協議しながら基本構想及び基本計画の策定、用地買収、施設設計、建設工事の順を経るため、開駅予定時期は明示できないが、着実に検討を進めていきたいと考えている。

問 学校給食における地元産品の使用比率を上げる具体的な取り組みは。

答 **産業振興部長**／現在、地元産品の供給体制づくりを担う専門家を派遣する農林水産省の事業である地産地消コーディネーター派遣事業に応募している。今後、専門家を活用しながら、学校給食における地元産品の活用を図る新しい取り組み体制を確立していきたいと考えている。

市内小中学校における通学路の安全対策は

霞　惠介

問 通学路の安全対策について、①平成二十六年度の一斉緊急合同点検で抽出した危険箇所への対応は。②各校からの要望への計画的な対応は。③老朽化した歩道橋への対応は。

答 **建設部長**／①要対策箇所五十三地点のうち、短期的な対策が可能な四十七カ所については完了しており、長期的な対応を要する箇所については引き続き関係機関との協議や補助金等の確保に努めていく。②関係機関との合同点検や安全対策の実施、その効果の把握や改善・充実といったPDCAサイクルの取り組みを市民と情報共有しながら進めていく。③国の要領に基づく定期点検の結果を踏まえ、各道路管理者において補修工事等を行っているほか、国、県、市などで組織する静岡県道路メンテナンス会議において、課題の検討や進捗状況の確認等を行っている。

問 歩車分離式信号機の位置づけと交通ルールの周知方法は。

答 **企画部長**／歩車分離式信号機は、交差点で歩行者が安全に横断できるよう、道路形状等を考慮して設置されており、その横断方法などの交通ルールについては、関係機関・団体と連携し、街頭指導や交通安全教室を通じて周知徹底に努めていく。

運転免許制度改正に伴う消防団員確保のための取り組みは

梶　泰久

問 平成二十九年三月の運転免許制度改正に伴い、沼津市消防団の車両を運転するためには、車両総重量の制限により準中型免許の取得が必要となるが、その取得費用の助成や車両整備に対する考えは。

答 **危機管理監**／現在、沼津市消防団に配備している車両は、全て新制度の普通免許では運転できないものであるため、消防団員確保の観点から、準中型免許の取得に対する支援制度の構築や車両整備のあり方について、他市町の状況を踏まえ検討していく。

▲新制度において準中型免許が必要となる現在の車両

問 平成二十九年度静岡県南駿地域総合防災訓練沼津会場として実施した沼津市総合防災訓練の評価と総合防災訓練の今後の取り組みは。

答 **市長**／約六万人が参加し、静岡県広域受援計画及び地域防災計画の検証や自主防災会との連携を前提とした訓練を行ったほか、各自主防災会が独自の訓練を行うなど、有意義なものであったと認識している。今後も、住民の防災意識の高揚と知識の向上を主眼とした、より実践的な訓練の実施について検討していく。

地域の自主防災組織とフードバンクふじのくにの連携は

渡部　一二実

問 自主防災組織の消費期限間近の備蓄食糧について、①活用方法は。②フードバンクに対する支援として有効活用するため、自主防災組織とフードバンクふじのくにを結びつける取り組みを行う考えは。

答 **危機管理監**／①防災訓練等における炊き出し訓練での使用が考えられるが、災害時の使用を前提とし、消費期限などを踏まえ適切に管理される必要があることから、防災指導員を通じて管理簿作成等の必要性などを紹介していく。②今後、自治会連合会の定例会や防災指導員の研修の機会等を捉え、フードバンクに関する趣旨説明を行うなど、連携を促す取り組みを積極的に進めていく。

問 沼津市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例の制定効果について、①空き家の実態調査及び所有者特定の状況は。②空き家所有者に対する行政指導の状況は。

答 **都市計画部長**／①制定前の平成二十六年度と制定後の二十七年度の比較では、実態調査件数が二十一件から三十一件に、所有者特定が十四件から三十一件に増加した。②制定後から平成二十九年八月までに百四十三件の空き家情報の提供があり、百五件に対し助言・指導を実施した。

新中間処理施設の整備再開の判断は

真野　彰一

問 市民生活のベースとなる一般廃棄物処理施設について、現施設が抱える問題点に対する認識は。

答 **生活環境部長**／建物は建設から四十年以上経過し、耐震性が低く、また、基幹改良工事から十五年経過した設備は支障なく運転しているが、一般的には稼働から二十年程度が限界とされており、安定操業へのリスクが増大していると認識している。

問 沼津市新中間処理施設整備基本計画において定めた整備スケジュールが延期されているが、①延期決定後の対応は。②再開の判断は。

答 **市長**／①学識経験者から意見を聞くための検討会を開催するなど、事業再開に向け準備を進めているほか、平成二十九年一月には、反対していた市内自治会から条件つきで建設容認を得ることができた。②コストが基本計画で整理した範囲内となること、現施設が限界を迎える前に新施設を稼働させること、地元から同意を得るめど、この三つが全て整うことが理想だが、建てかえ必至の状況になれば再開の判断が必要と考えており、その時期を見誤らないよう、慎重かつ早期に検討を進めるとともに、事業再開後は遅滞なく作業が進められるよう努めていく。

小学生向け土曜科学教室の実施を

髙橋　達也

問 小学生のころから質のよい実験に触れ、正しい知識や経験、知的な刺激を得ると、その後の科学学習の意欲と成果により効果があらわれると考えるが、土曜日を使った、小学生の科学教室を実施する考えは。

答 **教育長**／子供たちにとって、学ぶ楽しさを実感することにより、もっと学びたいという意欲を育むことは、何より大切であると考える。官民問わず、子供たちの興味や好奇心を高めるイベントや講座等の情報を集め、広報や支援に努めつつ、学校や企業等と連携しながら、授業の中だけでは体験できない、貴重な学びの場の提供について研究していく。

問 本市の広い砂浜の清掃について、人力に頼るのではなく、海岸清掃機材を導入する考えは。

答 **産業振興部長**／本市では、平成六年に海岸清掃機材を導入し、牛臥海岸などで使用してきたが、海岸や漂着物の状況から、導入当初から故障が多く、現在は清掃機能が損傷し、運搬機能のみを使用している。現段階において、新たな機材の導入予定はないが、今後、本市と同じような条件で機械の導入を行っている事例を参考に、性能や耐久性、費用対効果などを総合的に研究していく。

沼津駅北口周辺の放置自転車対策を

加藤　明子

問 沼津駅北口周辺の放置自転車対策として、Ｂ－Ｖ－沼津前の自転車専用通行帯部分へ駐輪場を整備する考えは。

答 **企画部長**／沼津駅北口周辺にある三カ所の駐輪場は全て高い利用率であり、駐輪場の収容台数が不足している。平成二十九年度の早い時期に、静岡県公安委員会に対して、Ｂ－Ｖ－沼津前の道路区域内の自転車専用通行帯に駐輪場を設けることについて相談し、意見を聞いた上で、交通規制の変更に関する協議を行うとともに、地元自治会等との調整を行い、整備の可能性について早急に検討していく。

問 キラメッセぬまづを含むプラサヴェルデ前の自転車専用通行帯に駐輪している自転車来場者への対応は。

答 **産業振興部長**／施設前に駐輪されている状況を踏まえ、来場者の利便性を考慮して、平成二十九年十月中をめどにキラメッセぬまづと東側駐車場の間のスペースに駐輪場を設置するとともに、来場者への周知、誘導に努めていく。

▲沼津駅北口周辺の放置自転車の現状

本市に関連する拉致被害者がいた場合の保護及び支援は

小澤　隆

問 本市に関連する拉致被害者がいた場合の保護及び支援は。

答 **福祉事務所長**／平成十四年に制定された、北朝鮮当局によって拉致された被害者等の支援に関する法律では、拉致被害者及びその家族に対し、国による給付金の支給等による経済的支援のほか、地方公共団体においても、生活相談の実施、住宅の供給の促進、雇用・教育の機会の確保など、必要な施策を国とともに講ずるものとされている。このため、帰国した拉致被害者及びその家族が本市に住居を定める場合には、市は、国や関係機関と有機的に連携しつつ、生活基盤の再建などに資する施策を初め、自立を促進し、良好かつ平穏な生活を送るために必要な保護や支援を行っていく。

問 弾道ミサイルからの避難方法の周知は。

答 **危機管理監**／現在、市のホームページなどにおいて、弾道ミサイル落下時の行動について掲載しているほか、内閣官房の国民保護ポータルサイトも閲覧できるようにしているが、今後、市ホームページの内容を見直し、緊急時の行動内容や、放送される警報音がわかりやすく確認できるように工夫していく。

香陵公園周辺整備における駐車場台数の確保を

加藤　元章

問 新市民体育館の構造を変更し、一階部分をかさ上げして駐車場化し、二階以上を体育館とする新しい案を提案するが、それについてどう考えるか。

答 **市長**／香陵公園周辺整備に係る説明会においても、駐車場台数の問題について、非常に心配であるという意見があった。議員の提案については、その可能性を検討すべきであると考える。

問 東京オリンピック・パラリンピックのイタリア女子レスリングチームの事前合宿について、早急に受け入れを表明すべきと考えるがどうか。

答 **産業振興部長**／受け入れ会場として、オリンピック組織委員会が定める要件を備えたプラサヴェルデを利用した場合、会場使用料等が高額になるため、本市と相手側の費用負担の条件で折り合いがついていない。再度、十一月ごろに交渉を行う予定であり、その際には、前回の交渉において示された相手側の要望を十分にしんしゃくした上で、本市の積極的な受け入れ姿勢を提示し、誘致の実現を目指していく。また、あわせて県施設であるプラサヴェルデの会場使用料等への支援を、県に対して要望していく。

放射線被害から市民を守る対策は

中田　孝幸

問 浜岡原子力発電所に重大な事故が発生した場合、本市においても放射線の被害が及ぶことを想定して対策すべきと考えるが、それに対する認識は。

答 危機管理監／原子力規制委員会では、原子力発電所からおおむね五キロメートルから三十キロメートルまでの範囲を、緊急時防護措置を準備する区域として定めている。本市は浜岡原子力発電所から約八十キロメートルの位置にあることから、避難行動が必要となるレベルの線量が観測される可能性は低いと考えているが、本市と同等の区域において、原子力災害への独自の対策計画を作成している自治体があることも承知している。しかし、それらの事例を見ると、計画上、対策の詳細が明確になっていないなど、課題が見受けられることも事実である。本市としては、発災時には沼津市地域防災計画の突発的災害応急対策計画に基づき、国や県と緊密に連携しながら、情報の収集や伝達などの対応を的確に行っていく。また、今後の原子力対策に関する国際的な議論や国の施策の検討の推移を注視し、独自の避難計画の必要性ということも含めて、研究していきたいと考えている。

「沼津市長期財政に関する試算」の妥当性は

川口　三男

問 「沼津市長期財政に関する試算」の人口の見通しについて、①市財政に大きくかかわる生産年齢人口の推移という指標が欠落しているのはなぜか。②高齢化率や介護認定の出現率の上昇への対応策として、財源措置は本試算にどのように反映されているか。

答 財務部長／①人口の見通しについては、人口減少対策に関する事業費などを見込んだ上で、沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンによる総人口の人口減少率を主に用いており、市税収入の見込みに生産年齢人口等の動態を勘案していないことについては、その動態と市税収入の状況が必ずしも一致していないためである。②六十五歳以上の人口動態に基づき、介護保険事業特別会計への操出金の額に反映させている。

問 鉄道高架事業の完了後には、その事業効果が固定資産税や法人市民税などの増収として想定されて当然と考えるが、試算に反映されていないのはなぜか。

答 財務部長／本事業の効果による市税収入への影響額等を現時点で算定することは困難であることから、本試算においては見込んでいないものである。

新地方公会計制度導入の意義は

岩崎　英亮

問 新地方公会計制度について、①従来の会計制度との違いとそれによる影響は。②導入による効果は。

答 財務部長／①これまでの現金主義会計に加え、複式簿記による発生主義会計の考え方が取り入れられたことが最も大きな違いであり、影響としては、現金収支の観点だけではなく資産や負債といったストック情報を把握することにより、多面的に財務状況を分析・検証することが可能となることである。②資産等のストック情報や、減価償却費、退職手当引当金等のコスト情報の見える化が実現し、市民によりわかりやすく財務情報を提供することができるようになると考えている。

問 平成二十九年四月に総務省からふるさと納税に係る返礼品の送付等に関する通知があり、制度の趣旨に反する返礼品の取り扱いの見直しに対する要請があったが、それに対する本市の対応は。

答 産業振興部長／平成二十九年四月末に、資産性が高く価格が高額である宝飾品の取り扱いを中止した。また現在、高額の旅行クーポンや本市の住民に対する返礼品の送付について、取り扱い中止に向けて調整している。

鉄道高架事業の第三者による検証は

梅沢　弘

問 市長が鉄道高架事業の第三者による検証を行わないのであれば、自分たちで公認会計士に依頼して自治体経営への財政的影響を検証してもらおうという市民の声があがっているが、このやむにやまれぬ市民の行動に対する認識は。

答 市長／選挙のときから、鉄道高架事業に関する財政については見直し、その結果を市民へ公表すると言ってきた。平成二十九年九月五日に公表した「沼津市長期財政に関する試算」は、何カ月もかけて指示して、実現したものである。今後三十年間の試算をし、財政調整基金や財政の健全化指数がどうなるかという流れも確認した結果、これでなんとかやっていけるのではないかと自分自身納得した。そのことをわかってもらった上で、この結論を見て、みんなでどう思うか試算の中身について議論してもらうなら結構だと思う。

問 「沼津市長期財政に関する試算」において経済成長率を算入していない理由は。

答 財務部長／国における経済成長率の推計は、平成三十七年度までしかないため、今回の三十年間の長期試算に用いることは妥当ではないと判断したものである。

本定例会に提出されました、「浜岡原発の再稼働を認めない」とともに、情報公開、避難計画の作成など、浜岡原発事故対策を求める請願は、総務委員会において不採択とすべきものと決し、本会議において不採択となりました。

Q&A

・請願とは？

市民が国や地方公共団体等に意見や要望を述べることをいいます。地方自治法の規定により、提出には紹介議員が必要です。市議会に提出された請願は常任委員会等で審議したうえで、本会議で採決（採択・不採択）します。

・陳情とは？

特定の事項について利害関係のあるものが、市議会などに実情を訴え、措置を要望することで、請願と異なり紹介議員は必要としません。

・意見書とは？

市だけの努力では解決できない公共の利益に関する問題について、市議会の意思をまとめて国や県に要望するものです。

戸田地区からの高等学校通学補助金創設は

水口 淳

問 高校三年間を戸田地区から通学することによる、地元への愛着や郷土愛の醸成により、将来一人でも多くの若者が戸田地区へ戻り、定着することを目的とした戸田地区からの高等学校通学補助金を、過疎対策として創設する考えは。

答 企画部長／過疎対策としての新たな補助金の創設については、将来の帰郷による若年層の定着への効果を初め、他都市の事例を参考にしながら、今後研究していく。

問 市長が目指す世界一元気な沼津を実現するためには、若者が沼津に定着することが大事であり、県外へ通学する専門学校生や大学生に対する通学補助金を創設すれば、沼津から通学する学生もふえると考えられ、地元への愛着や郷土愛の醸成により、一人でも多くの若者が定着すると考えるが、本市の若者に先行投資する考えは。

答 企画部長／若者が郷土に愛着を感じ、進学等で地元を離れることがあっても、いつの日か戻ってきて、地域と一緒に歩みたいと思ってもらえるようなまちづくりを進めていくことが大切だと考えており、通学補助金の創設も含め、今後よく研究していく。

道路整備推進のための道路整備事業に係る補助率等のかさ上げ措置の継続及び道路予算の確保に関する意見書

道路は、安全・安心な暮らしや、持続的な地域経済の成長を支える基本的なインフラであるとともに、災害時には市民の命を守る機能を有するなど、生活に欠かすことのできない重要な社会資本である。

本市は、東名高速道路及び新東名高速道路へのアクセス性にすぐれ、富士山、伊豆半島など世界的な観光地に囲まれた観光立地性を生かして競争力のある都市づくりを進めていきたいと考えている。

そのため、市内交通の慢性的な渋滞の解消や南北交通の円滑化は急務であり、東駿河湾環状道路や国道414号静浦バイパスなどの広域道路網の整備、連続立体交差事業や土地区画整理事業による都市内幹線道路の整備や踏切対策、生活道路や通学路における交通安全対策、大規模災害に対する防災・減災対策、さらには急速に進む道路構造物の老朽化対策など、道路に関する対応すべき課題について、より一層の取り組みを進めていく必要がある。

このような状況において、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」（以下「道路財特法」という。）の規定による補助率等のかさ上げ措置が平成29年度末で切れ、平成30年度から地方負担が増加することになれば、地方創生の実現はもとより、自治体運営にも多大な影響が生じることとなる。

ついては、平成30年度以降も迅速かつ着実な道路整備を推進するため、下記の措置を講じられるよう強く要望する。

記

1　道路財特法の補助率等のかさ上げ措置について、平成30年度以降も継続するとともに、必要な道路整備の推進が図れるよう拡充、見直しも含め必要な措置を講ずること。
2　長期安定的に道路整備が進められるよう、平成30年度道路関係予算は所要額を満額確保すること。
3　補正予算の編成による、平成29年度における事業のさらなる加速化を図ること。

この意見書は、平成29年10月16日に全会一致で可決された後、関係官庁等へ送付しました。

ぼくとわたしの ゆめ たから

千本小学校
6年
堤（つつみ）　妃那（ひな）さん

かなえたい夢

イラストレーターになることが、私の夢です。きっかけは、「探偵（たんてい）チームKZ事件ノート」の表紙絵です。色使いや人物の表現の仕方にひかれました。

読書も絵をかくことも好きな私は、本を読んでいる時、さし絵の力で、物語の世界により引きこまれることがあります。

気に入ったさし絵があると、そのさし絵をまねして、どのようにかいているのか研究しています。

いつか、物語の表紙や、さし絵を担当できるようなイラストレーターになりたいです。

開北小学校
6年
執行啓介（しぎょうけいすけ）さん

きれいな服を作る和染職人

ぼくの夢は、いろいろな人に着たり身につけたりして、満足してもらえる和染（わぞめ）職人になることです。

和染の生地は、うすいので、夏の暑い日でも風が通って涼しいです。ぼくが初めて和染を体験した時は、色をつける前に、ビー玉やわりばしを輪ゴムでしばりつけ、染料につけました。輪ゴムの巻きかげんによって形が変わるので、どんなもようができるのか、とてもわくわくしました。

和染は、きっと外国の人も楽しめると思います。もっと広めていきたいです。

より開かれた議会へ

議会活性化等特別委員会の活動報告

議会活性化等特別委員会は、沼津市議会が目指す、市民に開かれた議会の実現に向けて、さらなる議会の活性化を推進するため、議会活性化等に関する調査・研究を行う特別委員会として、７人の委員により平成29年３月23日に設置し、以下の３つの項目について取り組んでいます。

1　議会から市民への情報提供、議会と市民との意見交換について
2　議会のＩＣＴ化について
3　その他議会活性化に関すること

まず、委員会では「議会から市民への情報提供、議会と市民との意見交換をする会」について話し合い、検討を重ねる中で、「（仮称）市民との会」として、11月12日（日）に千本プラザで試行的に開催しました。

この会は、参加者24人、傍聴者24人にお集まりいただき、９月定例会の報告をし、また、参加者からさまざまな御意見を伺いました。

今後も、調査・研究を重ね、議会活性化への取り組みを進めていきます。

◀「（仮称）市民との会」における意見交換の様子

電子書籍・スマートフォンで議会だよりをご覧いただけます

＊電子書籍ポータルサイト「しずおかイーブックス」
http://www.shizuoka-ebooks.jp/

＊モバイル端末用広報紙　閲覧アプリ「マチイロ」

マチイロ

議会だよりへの御意見・御感想をお聞かせください

議会だより編集委員会では、今後の紙面づくりの参考とさせていただくため、皆さんからの御意見・御感想をお待ちしています。

郵送、電話、FAX、Eメール等でお寄せ下さい。（本紙左端参照）

次回発行予定　平成30年２月15日

発行／沼津市議会
編集／議会だより編集委員会

〒410-8601 沼津市御幸町16-1
TEL 055-934-4711　FAX 055-931-1226
E-mail:gikai-jim@city.numazu.lg.jp

市議会HPでは、本会議の録画映像などを配信中!

沼津市議会　検索